

磐城石川産一新鑛物(石川石)研究補遺

理學博士 柴田雄次

理學士 木村健二郎

報

文

吾人は先に磐城國石川郡石川町附近より出づる一の活放射性鑛物の化學分析を試み其の結果及び一二の物理的性質より新鑛物なるべきを推定したれども當時不幸にして測角に適する結晶を見ざりしかば單に石川産一新鑛物 (An unnamed mineral from Ishikawa) の稱を以て之を豫報するに止めたり。(本會誌大正十一年第四三巻第三〇六—三一二頁)

然るに其後に至り稍完全なる晶面を示すもの入手し得たれば栗津秀幸氏並に理學士太秦康光氏と共に水平測角器及び複圓測角器にて測角を試みたり
尙此の標本は測角を終りし後其の一部を缺き取りて定量分析を試み先に報告せる鑛物と同一なる事を確めたり。測角の結果次の如し

斜方晶系。 $a : b : c = 0.9451 : 1 : 1.147$

*を附せるは軸率算出に使用せる角なり

斯の如く此鑛物は獨り化學成分等よりのみならず結晶形より見るも全く新しき鑛物なるを判定し得るを以て吾人は之に本邦産新鑛物として新名を與ふるの適當なるを思ひ其命名を理學博士神保小虎教授に乞ひたるに同教授は産地の名を取りてイシカワ石(石川石 *Ishikawaito*)の稱を與へられたり依りて先に報告せる新鑛物が今より此の名を以て呼ばれん事を望む

(附言)

結晶に關する稍詳細なる記事は近月の地質學雜誌に掲載の豫定なり

大正十一年六月稿

結晶面角

	實測値	計算値
$a \wedge g$	25°26'	25°17'
$a \wedge h$	32°11'	32°13'
* $a \wedge m$	43°23'	—
$a \wedge n$	75°15'	75°11'
$a \wedge b$	89°38'	90° 0'
$a \wedge r$	77°30'	78°43'
* $r \wedge r'''$	95°20'	—
$c \wedge d$	50° 0'	50°31'
	$c = (001)$	
	$a = (100)$	
	$g = (210)$	
	$h = (320)$	
	$m = (110)$	
	$n = (140)$	
	$b = (010)$	
	$r = (144)$	
	$d = (101)$	